

# 平成21年度 県土整備部環境配慮事例報告書

# 保全対象種

事業主管課 運輸総局港湾空港課  
 実施機関 関南部総合県民局 県土整備部<美波>

【ハマネナシカズラ】  
 ヒルガオ科の一年草で、ハマゴウ等によく寄生する蔓性植物。  
 (環境省RDB) 絶滅危惧種 類 (徳島県RDB) 絶滅危惧種 類

【事業の概要】  
 事業の種類 港湾・漁港・海岸整備 海岸整備  
 事業箇所名 海部郡美波町  
 事業の規模・状況 0.16 km 小規模事業b 施工段階

【ハマネナシカズラの花】



【生育状況】



【事業の目的及び概要】  
 ・当該事業は、今後30年以内に発生する確率が60%以上とされている東南海・南海地震に対して防波堤及び胸壁等を改良するものである。

【実施した環境要素の一覧及びRDBの有無、モニタリングの要否】

大気環境	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物・温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否

# 配慮対策の状況

【特に配慮した環境要素と実施事項】  
 当該箇所は、室戸阿南海岸国定公園区域内であるため、協議会を設置し、設計段階より景観等に配慮した検討を実施した。  
 また、環境調査において確認された希少種のハマネナシカズラについては、確認箇所に立ち入ることがないようにトラロープ等により分離を行った。

【施工前の状況】



【配慮対策の状況】



【目標に対する達成状況】  
 本年度現地着手したばかりであり、今後の状況(景観)把握に努める必要がある。

【配慮対策の内容】  
 施工前にバリケードを設け、工事車両の進入や資材仮置等による群落地の改変を避ける。

【実施事項に対する評価】

実施者	施工業者も、周辺環境に対する意識を持った施工が行われている。
主管課	施工直後であるため、今後の状況把握に努める。
専門家	当該植物については工事に際して計画的に調査を進め、配慮対策を実施している。専門家ともよく協議を行っているので、今後も協力関係を保ちながら必要な配慮対策を実施し事業を進めていって欲しい。

